

人権・平和・環境

あしだかわ

発行

南部生涯学習センター
 福山市沼隈町草深 1889 番地 6
 (沼隈支所3階)
 TEL 980-7713
 FAX 987-2382



E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL: <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「あしだかわ」で検索!

あみボラ企画 第2弾 まだまだボランティアスタッフ募集

クリスマスエールコンサート



大好評だった昨年に引き続き今年も「クリスマスエールコンサート」をかいさいいたします。
 コンサートの他にも市民の方から応募いただいたメッセージカードを壁一面に飾り付けします。
 みんなが描いた応援メッセージを「幸福を運ぶ」こうもりに託します☆
 ぜひ、コンサートを聴きにきてください。

コンサート出演

(サーフ ユナイテッド クルー)

・SURF UNITED CREW ・J☆ソーラン

・福山大学箏曲部 ・ハンドベル隊



日時: 12月20日(日) 14:00~15:30

場所: 沼隈図書館2階 市民ギャラリー

ふくやま♥まちづくり大学

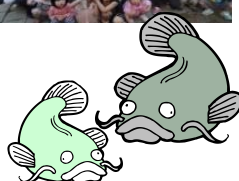
ピンチをチャンスに☆

休耕田から“ナマズ養殖”が生まれた

日時: 12月5日(土) 10:00~11:30

場所: 人権交流センター

講師: 野村俊英さん(神石高原町草木自治振興会)



しかくしょう とう りゆう ひと えいりもくてき のぞ ろくおん てんじ かくだい みと
 視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。

南部こんなんやるんDAY!!

沼隈図書館 987-5630

書展「見たい・聞きたい・言いたい」お猿展

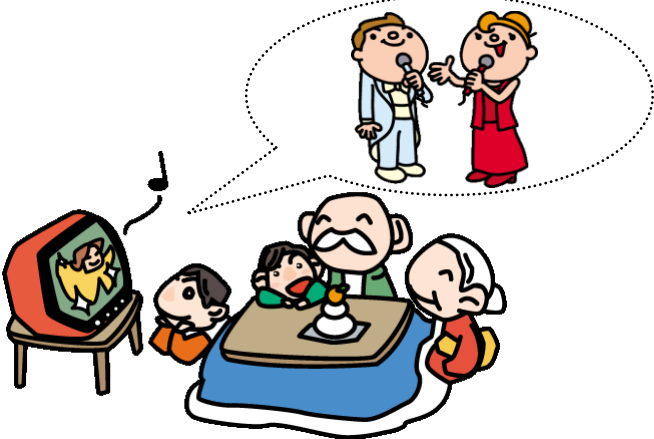
と き 2015年12月13日(日)
~2016年1月9日(土)

ところ 沼隈図書館 1階常設展示室

提 供 中川 明子 さん(中川書道教室講師)

※入場無料。

2016年の干支をテーマにした
カレンダー、絵皿など約70点を展示。



工作
「樹脂粘土でつくるミニチュアの世界」

と き 12月12日(土)

14:00~15:30

ところ 沼隈図書館2階 創作室

対 象 小学生~おとな 15人
(先着順)

申 込 12月8日(火) 10:00~

来館または電話に

て

参加費 500円

報告 第33回 城西校区人権学習講座 第2講座:講演 「戦後・被爆70年ヒロシマからのメッセージ」

11月13日に山手コミュニティーセンターで、講師に江種祐二さんをお招きして「戦後・被爆70年ヒロシマからのメッセージ」をテーマに、人権学習講座を行いました。

講師の江種さんは17歳のとき、被爆地から6kmにある金輪島で学徒動員中に被爆されました。

『原爆投下直後、現在の広島駅から、平和公園を抜け、広島県総合グラウンドのほうへ救護のため徒歩で移動した。初めのうちは、塵や灰で黒くすすけた人が多く、平和公園の方へ近づくにつれ、体から皮膚が垂れさがり、眼球が飛び出し、足や腕を引きずった人がたくさん、燃えている市内から少しでも外へ逃げようとされていた。』



川の中にも、水を求め頭から飛びこみ足だけ見える人がたくさんいた。後日、遺体を焼く仕事をしたが川にはおなかがパンパンに膨れた遺体がたくさんあった。台風で、その多くは流されてしまった。今でも川底や海底には埋葬されていない遺体がたくさんあるということをみなさんに、覚えていてほしい。』と話されました。

原爆投下直後の広島市内の貴重なお話を聞くことができました。この話を、後世に語り継いで二度と繰り返してはいけないと思いました。

済美校区人権問題講演会

同和対策審議会答申

50年の意義と これからの課題

日時 **12月3日(木)**
19:30~21:00

会場 **瀬戸コミュニティセンター**

講師



一般財団法人大阪府人権協会代表理事

村井 茂
さん

- 入場無料です。
- 手話通訳あります。
- 駐車場あります。
- 主催 瀬戸地域民主化推進協議会
津之郷学区人権学習推進協議会
赤坂学区人権学習推進協議会
南部生涯学習センター
- 問い合わせ ☎084-980-7713/7714



報告

◆高島学区人権問題講演会◆ ♪トーク&ライブ♪ 「あなたに伝えたいこと」同和対策審議会答申の歩みと発展

報告 高島学区人権問題講演会

11月12日に高島公民館で、講師にあじあんさんをお招きして「あなたに伝えたいこと」同和対策審議会答申の歩みと発展をテーマに人権問題講演会を行いました。

1961年の高度経済成長前の日本情勢から、同和対策・同和教育の歩みや、現在の人権問題についてなど幅広くお話いただきました。

主なテーマである同和対策審議会の答申については、簡単に説明すれば2つのことを言っています。1つは、「同和問題の解決は国の責務である。生活環境の改善など施策で解決できる。」ということ、もう1つは、「同和問題は国民的課題である。偏見を持っているのは国民であり、正しい情報を知れば解決できる。」といういこと、と説明していただきました。



同和対策審議会答申以外の内容も盛りだくさんで、途中お話に関連した歌の演奏もあり、聞いたことがずっと自分に入りやすい講演会でした。

じんけんは ひとりひとりの たからもの

第九～歓喜の歌 大合唱～

11月の報告

おおまかな、流れに乗って第九を歌えるようになってきましたが、まだまだ課題は多いです。歌詞はドイツ語なので発音も難しいのですが、発音だけでなく音を単語として発声することも重要です。以前、1音に2文字以上の歌詞が入ることを紹介しました。その1音の間に、たとえば“weilt(ヴァイル t)”という単語を言うとき、“バイッ”と聞こえることがあります。後半の“ル”と“ツ”を意識することと、パートでタイミングを合わせることが正しく“ヴァイル t”と発声するために大切です。テンポの速いところは特に、注意して練習したいと思います。



11月5日 沼隈支所

第九ちょっと豆知識⑤

今年もあと一カ月をきり、第九のシーズンになりました！

日本では年末に第九が歌われることが定着しています。1940年代後半頃から、第二次世界大戦直後の日本を元気づけるためや、学生の卒業や出征を祝って様々なところで第九が歌われるようになりました。またオーケストラだけでなく、合唱団など多くの人の参加が必要なので、イベントとして人気があることも日本で年末に歌われることが定着した理由だといわれています。歌詞もメロディーも喜びや希望を表現するものが多いので、みんなで歌って楽しい年末を過ごしたいですね。

主催：ローズパーティー実行委員会（980-7713・980-7714）

Heartful メッセージ ハートフル Message 2015 ～いのち・ぬくもり・つながり～ ヨンサート



出
節
さん
(和太鼓・篠笛)
和奏風草

とき 12/19(土) 開場 13:00
開演 13:30

ところ 瀬戸コミュニティセンター

お問い合わせ 084-951-1809 (瀬戸コミュニティセンター)
084-951-5679 (山手コミュニティセンター)

『和を奏でる』

～和太鼓を通して人権・同和問題を考える～

和太鼓歴は20年を超え、2011年夏、全国隣保間連絡協議会が開催する「東日本大震災被災者支援事業～きずな～キャラバン」に和太鼓奏者として参加。これを契機に、以後、被災地での和太鼓演奏を継続。

また、兵庫県内外の人権啓発事業などの和太鼓ライブでは、あしなが育英会が主催する「東日本大震災遺児支援募金」を呼びかけている。その他、地域イベントや福祉施設などで和太鼓演奏、公演や和太鼓教室の指導を行っている。

主催：南部管内コミュニティセンター
協力：瀬戸学区まちづくり推進委員会

